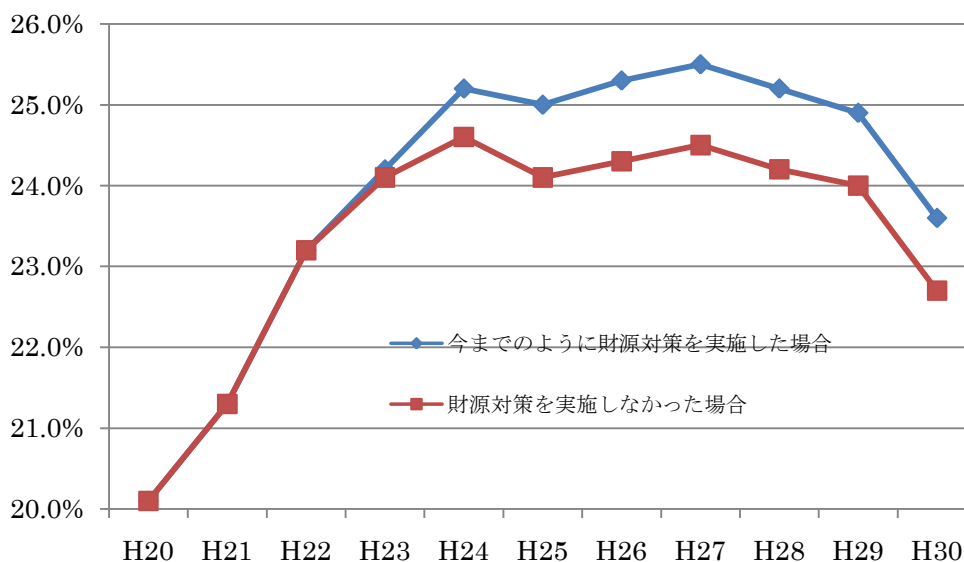


## 1 財政の現状

### (1) 実質公債費比率の推移

これまでのような財源対策を続けると実質公債費比率が上昇し、平成24年度には早期健全化団体に転落してしまいます。



### (2) 収支見込

平成22年度当初予算編成において、約270億円の収支不足が見込まれます。

(単位：百万円)

区分	21年度当初予算		22年度見込み		
	予算額	伸率	予算額	伸率	増減額
市 税	177,000	△3.8%	167,912	△5.1%	△ 9,088
譲与税・交付金	22,975	△6.5%	20,657	△10.1%	△ 2,318
市 債	40,015	14.3%	37,905	△5.3%	△ 2,110
そ の 他	95,010	22.3%	90,653	△4.6%	△ 4,357
計	335,000	4.3%	317,127	△5.3%	△ 17,873
義務的経費	175,911	3.7%	177,602	1.0%	1,691
投資的経費	36,363	△8.6%	36,751	1.1%	388
そ の 他	122,726	9.6%	129,494	5.5%	6,768
計	335,000	4.3%	343,847	2.6%	8,847
差 し 引 き	0		△ 26,720		

この収支は予算編成にあたっての一定条件における試算である。

## 2 これからの取り組み

財政健全化に向けて、新たな「財政健全化プラン」を策定し、財政危機の克服に向けた取り組みを強化します。

収入増加策	支出抑制策
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市税等徴収率・収納率の向上</li> <li>○保有資産の有効活用・売却</li> <li>○受益者負担の適正化(料金改定・無料施設の有料化 など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人件費の見直し</li> <li>○民間機能の活用</li> <li>○外郭団体の統廃合およびOB派遣の見直し</li> <li>○建設事業の徹底した見直し</li> <li>○建設事業の厳選 など</li> </ul>

## 3 参考

